

一般社団法人 日本生態学会

2018 年度第 3 回通常理事会

1. 日時：2018 年 12 月 15 日（土）13:00～17:10
2. 場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス会議室 B
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（20 名・定足数 10 名以上）
（理事）占部城太郎、陀安一郎、木庭啓介、北村俊平、久米篤、吉田丈人、内海俊介、大澤剛士、佐竹暁子、鈴木まほろ、陶山佳久、東樹宏和、中野伸一、丑丸敦史、宮下直、可知直毅、巖佐庸（Web 参加）（全理事中 17 名参加）
 - （欠席理事）湯本貴和、中川弥智子、西廣淳
 - ・監事：岡部貴美子、粕谷英一
 - ・オブザーバー：仲岡雅裕、伊東明、小池文人、永松大、三木健、黒川紘子、土居秀幸（Web 参加）
 - ・事務局：鈴木晶子、橋口陽子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 17 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い占部城太郎会長を議長として議事を進行了。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、占部城太郎会長、岡部貴美子監事、粕谷英一監事とし、議事録作成者は陀安一郎理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・ 資料 1 に基づいてメール審議により 2019 年からの学生会費値下げが総会にて承認された（8 月 27 日）こと、学術振興会に平成 31 年度科研費（研究成果公開発表）計画調書など応募書類一式を送付した（11 月 7 日）こと、EAFES8 より残金として 2,230,642 円の入金があった（8 月 1-4 日）ことなど、陀安専務理事より庶務報告 15 件、会計報告 13 件の報告があった。
 - ・ 2018 年の会計執行状況について概ね予算通りとの報告が行われ、確定版は 2 月の理事会で示されるとの報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・ 資料 2 に基づいて仲岡編集長より神戸大会 ER シンポ、フォーラム開催予定について、特集予定など報告があった。
 - ・ Ecological Research にて起こった不正投稿論文について報告があった。
 - ・ これまで社会学が関連しているもの、保全関連について等 Ecological Research が扱わない分野があったが、学会員のニーズに合わせて検討の

- 必要が出てきているとの報告があった。
- ・ 発信アドレスによっては編集部にはメールが届かなかったことが9月から11月に多数あり、久保電子情報委員会委員長に対応していただいたとの報告があった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
- ・ 資料3に基づいて伊東編集長より編集状況及び刊行状況、特集依頼に力を入れたところ、昨年より特集の投稿が増えていることなどの報告があった。
 - ・ 生態誌編集担当が事務局鈴木より橋口に交代したとの報告があった。
4. 保全生態学研究編集委員会報告
- ・ 資料4に基づいて小池編集長より編集状況および投稿状況について昨年より少し減っているとの報告があった。
5. 大会報告 (ESJ66)
- ・ 資料5に基づいて土居大会企画委員長より神戸大会について日程がほぼ決まったとの報告があった。
 - ・ 丑丸実行委員長より会場費節約のため1日目午前中希望の委員会を除いては午後からの委員会となったこと、大会専属の事務局員配置の提案があった。
6. 各種委員会報告
- <キャリア支援専門委員会>
- ・ 資料6に基づいて宮下理事より第66回大会の委員会活動予定、女子中高生夏の学校・理工チャレンジ・私立学校理系教員選考会への参加報告があった。理工チャレンジで配布した学会編書籍「エコロジー講座」が好評であったため一般啓蒙的な書籍を続けて発行してほしいとの要望があった。
 - ・ 生態学会神戸大会の男女共同参画ランチョンフォーラムのタイトルの一部が一般聴衆に向けては適切でないという指摘があり、土居大会企画委員長に変更を依頼することになった。
 - ・ 男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて可知理事より報告があった。
- <生態教育専門委員会>
- ・ 資料6に基づいて丑丸理事より高等学校生物教育における重要用語の選定に対するコメントの報告があった。
7. 学会賞選考委員会報告
- ・ 資料7に基づいて東樹理事より学会賞選考経過の説明があり、業績評価

について次回は Researcher ID から Google Scholar を取り入れるとの報告があった。

8. 3 英文誌合同出版進捗状況報告

- ・ 資料 8 に基づいて久米理事よりまもなく 3 誌共通でアクセスできる手引きとサイトがオープンするとの報告、PE・PSB の冊子体の扱いについて提案があった。冊子体の扱いについては 2 月の理事会で審議することになった。

9. 京都大学生態学研究センターの共同利用・共同研究拠点に対する文部科学省の中間評価結果

- ・ 資料 9 に基づいて中野理事より 3 年に 1 度拠点審査評価で A となったこと、拠点として活動するためには今後も続けて A を取る必要があり、新規で拠点になることが難しい状況で生態学での拠点として今後も学会に支援いただきたいとの報告があった。

10. 分子生物学会との連携企画について

- ・ 資料 10 に基づいて占部会長より分子生物学会年会にて合同企画を実施しワークショップでは 200 名、フォーラムでは 100 名以上の参加があったこと、生態学会からも 60 名ほどの参加があったこと、神戸大会では分子生物学会との 3 件の合同企画が行われることが報告された。

11. 生物科学学会連合報告

- ・ 資料 11 に基づいて宮下理事より学会共同開催を見据えた公開シンポジウムが行われ生態学会からも湯本副会長が発表したこと等の報告があった。

12. 地区会還元金の扱いについて（経過報告）

- ・ 資料 12 に基づいて北村会計担当理事より還元金分配の理事会提案について近畿地区会以外の地区会では総会承認があったこと、近畿地区会の結果を待って 2020 年より実施したいとの報告があった。2 月の理事会で改めて確認すると報告された。
- ・ 提案の還元金では残高が減少する地区会も出てくるため、地区会残高が 1 年の執行予算程度になるまでに状況を見ながら再検討することが確認された。

審議事項

第 1 号議案 定款の変更について

- ・ 資料 13 に基づいて陀安専務理事より説明があり、定款の改正が全会一致で承認され 2019 年の総会に提案することになった。

第2号議案 日本生態学会功労賞、感謝状について

- ・ 資料14に基づいて陀安専務理事より説明があり功労賞候補者として竹中明夫氏、高田壯則氏を理事会推薦すること、Springer社と平口愛子氏に学会より感謝状を贈呈することが全会一致で承認された。

第3号議案 大会規則の英訳について

- ・ 資料15に基づいて土居大会企画委員長より提案があり審議した。粕谷監事より日英規則で解釈の違いが生じた場合日本語の規則が正文である等の文言を付記することが提案され、文言を付記すること含めて全会一致で承認された。

第4号議案 電子情報委員会の廃止について

- ・ 資料17に基づいて大澤理事より電子情報委員会廃止の提案があり、2019年3月の大会で廃止することが全会一致で承認された。

第5号議案 就業規則について(パートタイム就業規則・現就業規則の改正)

- ・ 資料17に基づいて木庭理事より説明がありパートタイム就業規則の制定および現就業規則の改正が全会一致で承認された。

第6号議案 ESJ67 日程について

- ・ 2020年名城大学で開催の全国大会について日程を3月4日～8日とすることが全会一致で承認された。

第7号議案 フォーラムの自然史学会連合との共催について

- ・ 資料18に基づいて鈴木理事より説明があり、理事提案の自然史標本フォーラムについて自然史学会連合への共催依頼および非会員演者への旅費支給が全会一致で承認された。
- ・ 今後のフォーラムの承認方法について、理事全体で審議のプロセスを行うことなどの内規を整備することとし、内規案については吉田理事が作成することになった。

第8号議案 非会員のフォーラム出席要望について

- ・ 資料19に基づいて丑丸理事より説明があり、生態教育専門委員会からの要望について理事会として実行委員会に依頼すること、非会員参加者の管理については生態教育専門委員会と実行委員会が協議して進めることが全会一致で承認された。

第9号議案 地区会選挙電子システム導入について

- ・ 資料20に基づいて木庭理事より説明があり、地区会選挙のための基本シ

システムを導入すること、さらに地区会より地区会選挙電子システム導入の希望があった場合は学会本体で費用負担することが全会一致で承認された。

第 10 号議案 男女共同参画学協会連絡会運営委員会要望書について

- ・ 資料 21 と別紙資料に基づいて可知理事より説明があり、改訂校で生態学会からの意見が通っていれば承認すること、慎重な意見があった旨を男女共同参画学協会連絡会に伝えることが全会一致で承認された。なお、改訂案で大幅に変わる内容があれば再審議することになった。

第 11 号議案 ER 編集委員の承認について

- ・ 資料 2 に基づいて仲岡 ER 編集長より説明があり新規委員について全会一致で承認された。

その他

1. 学会財政改革について（保全誌の PDF の即時公開の再検討）
 - ・ 資料 22 に基づいて北村理事より説明があった。2019 年より会員会費の値下げを実施。保全誌の PDF 即時公開については継続して検討する。
2. 若手支援について
 - ・ 資料 23 に基づいて大澤理事より 2019 年 3 月神戸大会にてフォーラムを実施すること、若手の集いについての報告があった。
3. 成山堂書店より生態学会へ出版企画の相談
 - ・ 資料 24 に基づいて占部会長より説明があった。

閉会：以上の議事を終え、17時10分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2018年12月17日

会 長 : 占部 城太郎 ⑩

監 事 : 岡部貴美子 ⑩

粕谷 英一 ⑩